

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		1月				2月				3月				4月		5月		備考
			27	3	10	17	24	3	10	17	24	3	10	17	24	上	中	下	上	下	
固体廃棄物の保管管理計画 2. 保管適正化の推進	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・足場材貸出による再利用	検討・設計																	
			(予定) ・足場材貸出による再利用	現場作業																	・2017年3月27日：足場材貸出運用開始
	固体廃棄物貯蔵庫の設置	(実績) ・運用中	検討・設計																	・2015年7月17日：実施計画変更認可申請認可	
		(予定)	現場作業																	・2018年1月：竣工 ・2018年2月：運用開始	
	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	(実績) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽)	検討・設計																	・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解	
		(予定) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽)	現場作業																	・減容作業開始：2018年5月24日 瓦礫運搬：2018年5月～8月3日まで 設置工事：2018年8月4日～ 2019年4月10日まで	
	一時保管エリアの追設/拡張	(実績)	検討・設計																		
		(予定)	現場作業																	・2017年6月14日：使用前検査(エリアG12槽分) ・2017年8月9日：使用前検査(エリアG22槽分)	
	雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・処理運転 (A・B系)	現場作業																	定期点検(3ヶ月点検) 【A系】 ・2018年12月1日～2019年3月上旬予定	
		(予定) ・処理運転 (A・B系)	現場作業																	【B系】 ・2018年12月1日～2019年3月上旬予定	
増設雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・鉄骨工事 ・鉄筋コンクリート、型枠工事 ・PC(プレキャストコンクリート)工事 ・建物付帯(給排水衛生・電気・消防)設備工事	現場作業																	建築工事 ・2020年度下期：竣工予定 ・2017年4月11日：実施計画変更認可申請 ・2017年8月22日：実施計画変更認可申請(一部補正) ・2017年11月9日：実施計画変更認可申請(一部補正) ・2018年3月29日：実施計画変更認可申請(一部補正) ・2018年4月19日：実施計画認可 ・2018年7月26,27日：第1回使用前検査→「良」判定 ・2018年11月12日：2工区エリア引渡建築一機工事 ・2019年1月29日(水,30水)：第2回使用前検査→「良」判定 詳細協議の上、次回を以下にて調整中。 第3回：2019年4月中旬 第4回：2019年5月下旬 第5回：2020年6月下旬		
	(予定) ・鉄骨工事 ・鉄筋コンクリート、型枠工事 ・PC(プレキャストコンクリート)工事 ・建物付帯(給排水衛生・電気・消防)設備工事 ・主要機器搬入、据付工事	現場作業																	機械工事 ・2019年2月7日：使用前検査実施→「良」判定。 1号検査：焼却設備のうちロータリーキルン		
除染装置(AREVA)スラッジ	(実績) ・スラッジ対処方法及び除染方法検討	検討・設計																	・スラッジ除染方法検討完了 2018年6月27日		
	(予定) ・建屋内除染 ・除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽(D)除塩	現場作業																	・建屋内除染 除染装置製作：2018年9月18日～ 2019年2月末 ・除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽(D)除塩 ：2018年9月10日～2020年2月末		

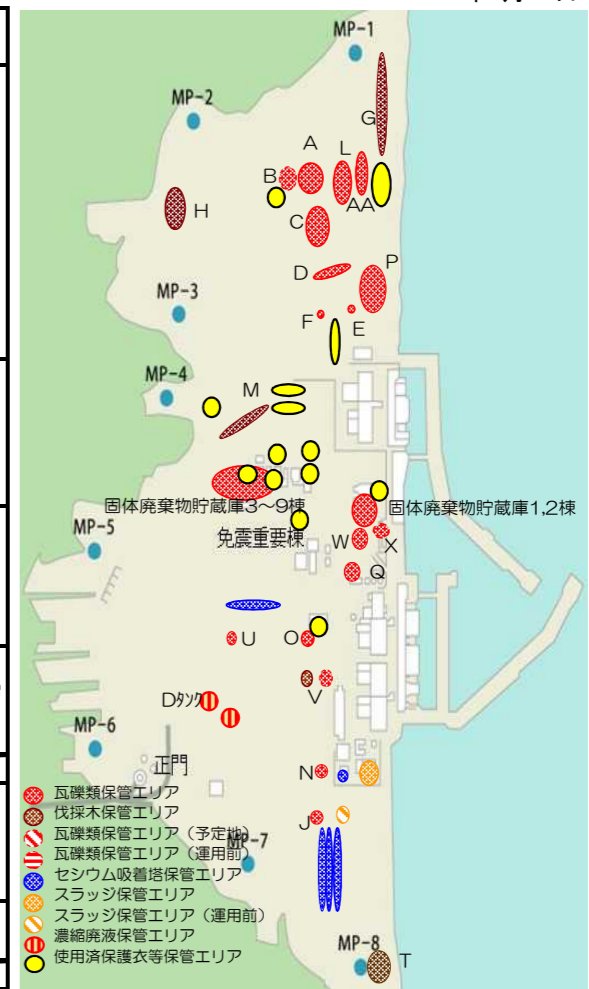
分野 区分	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	1月				2月				3月				4月		5月		備考
			27	3	10	17	24	3	10	17	24	3	10	17	24	31	7	14	
保管管理計画	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	(実績) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続																	線量率集計
		(予定) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続																	
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	4. 固体廃棄物の性状把握	(実績) ・【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 ・【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海等) ・分析試料のJAEA東海・民間分析施設への輸送																	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている <a href="https://fukushima.jaea.go.jp/hairo/work/tech-info.html">https://fukushima.jaea.go.jp/hairo/work/tech-info.html</a></li> </ul>
		(予定) ・【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 ・【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海等)																	<ul style="list-style-type: none"> <li>多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取</li> </ul>
5. JAEA分析・研究施設の整備(施設管理棟、第1棟、第2棟)	5. JAEA分析・研究施設の整備(施設管理棟、第1棟、第2棟)	(実績) ・施設管理棟建設工事 ・第1棟建屋現地工事 基礎工事 躯体工事																	<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年3月7日: JAEA分析研究施設第1棟 実施計画変更認可(原規規発第1703071号)</li> </ul>
		(予定) ・第1棟建屋現地工事 基礎工事 躯体工事																	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018年2月28日:竣工(施設管理棟)</li> <li>2018年3月15日:運用開始(施設管理棟)</li> <li>2017年8月7日:杭工事完了</li> <li>2018年11月15日:地上1階躯体工事開始</li> </ul>

### 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.1.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率(mSv/h)	保管量	前回報告比 <sup>※1</sup> (2019.1.31)	変動 <sup>※2</sup> 理由	エリア占有率	保管量 <sup>※3</sup> /保管容量(割合)	トピックス
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,500 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	77 %	・フランジタンク解体片 2019年1月末時点でコンテナ913基保管。 エリアP1コンテナ数：668基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：245基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	62,200 m <sup>3</sup>	微減	—	98 %	
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	85 %	
		J	屋外集積	0.01	5,100 m <sup>3</sup>	+400 m <sup>3</sup>	①②	64 %	
		N	屋外集積	0.01未満	9,300 m <sup>3</sup>	+3,800 m <sup>3</sup>	①	93 %	
		O	屋外集積	0.01未満	43,500 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	85 %	
		P1	屋外集積	0.01未満	49,700 m <sup>3</sup>	+900 m <sup>3</sup>	①③④	78 %	
		U	屋外集積	0.01未満	700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	100 %	
		V	屋外集積	0.01	4,500 m <sup>3</sup>	+600 m <sup>3</sup>	①③⑤	74 %	
	AA	屋外集積	0.01未満	8,100 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	①	22 %		
シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	58 %	・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)	
	E1	シート養生	0.02	14,100 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	88 %		
	P2	シート養生	0.01	5,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	62 %		
	W	シート養生	0.03	7,200 m <sup>3</sup>	-500 m <sup>3</sup>	⑥	25 %		
覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	100 %	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m <sup>3</sup> )増加。 (2018年5月)	
	A	仮設保管設備	0.14	1,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	14 %		
	E2	容器 <sup>※4</sup>	0.01	400 m <sup>3</sup>	微増	—	24 %		
	F1	容器	0.01未満	600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	99 %		
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 <sup>※4</sup>	0.01	13,600 m <sup>3</sup>	+900 m <sup>3</sup>	①③⑦⑧	30 %	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m <sup>3</sup> )増加。 (2018年2月)	
				合計(カレキ)	262,100 m <sup>3</sup>	+6,300 m <sup>3</sup>	—	66 %	
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	63 %	96700 / 134000 (72%)
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	74 %	
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	88 %	
		V	屋外集積	0.01	100 m <sup>3</sup>	微増	—	2 %	
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	88 %	
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	94 %			
合計(伐採木)				134,000 m <sup>3</sup>	微増	—	76 %		
保護衣	屋外集積	容器	0.04	54,200 m <sup>3</sup>	+1,100 m <sup>3</sup>	⑨	76 %	・使用済保護衣等焼却量 5261t (2019年1月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1264本 (2019年1月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				54,200 m <sup>3</sup>	+1,100 m <sup>3</sup>	—	76 %		

※1 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは100m<sup>3</sup>未満の増減を示す。  
 ※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物保管 ③構内所有者不明物品の受入 ④一時保管エリアVへの移動 ⑤一時保管エリアP1からの移動  
 ⑥固体庫9棟へ瓦礫の移動 ⑦1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑧一時保管エリアWからの移動 ⑨使用済保護衣等の受入

※3 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。  
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

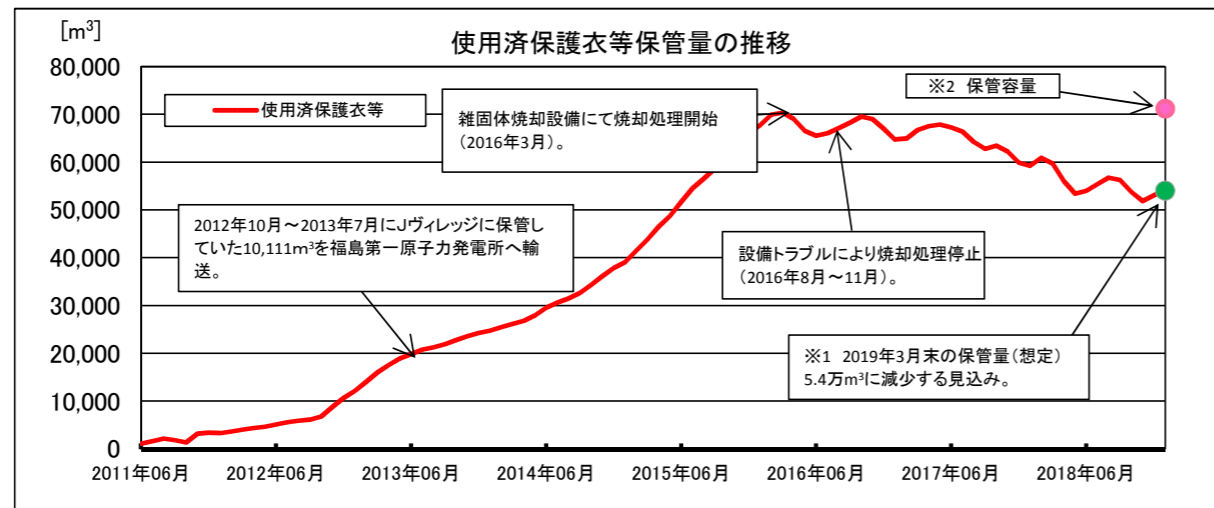
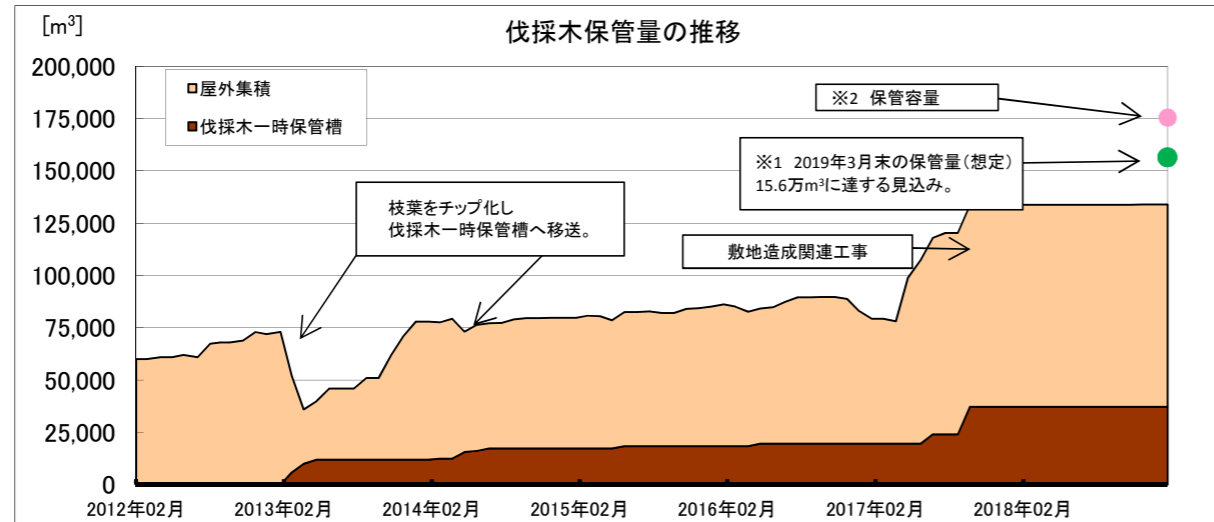
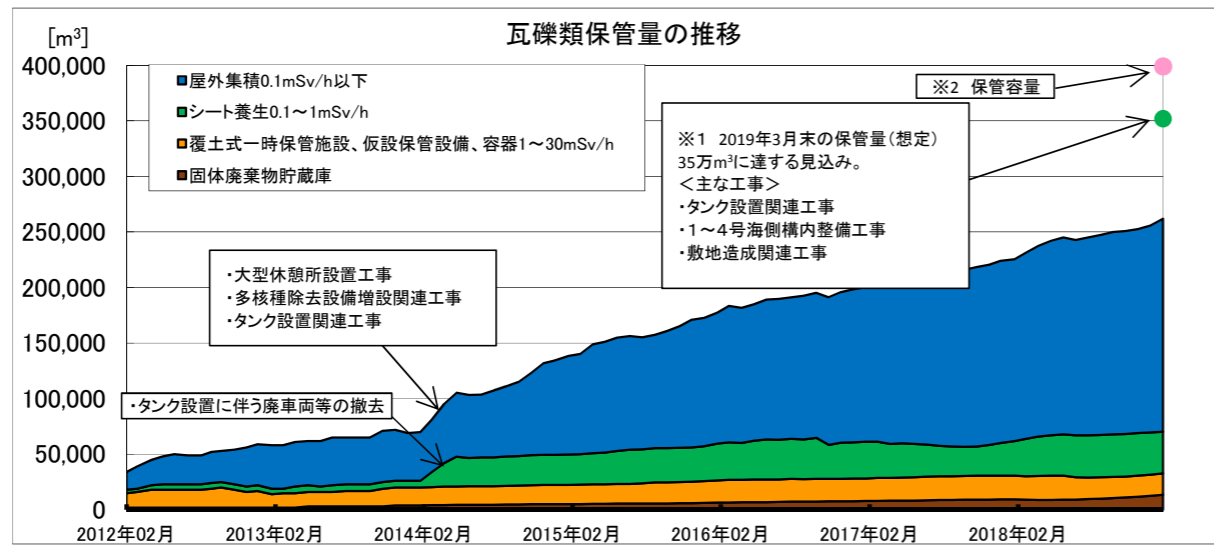


### 水処理二次廃棄物の管理状況(2019.2.7時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比(2019.1.31)	保管量/保管容量(割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	771 本	0 本	4282 / 6372 (67%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	210 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,594 <sup>※1</sup> 基			+14 基
			増設	1,418 <sup>※2</sup> 基			+17 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74 本			0 本
	多核種除去設備処理カラム	既設	11 塔	0 塔			
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	204 本	+1 本			
	廃スラッシュ貯蔵施設	廃スラッシュ	597 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,330 m <sup>3</sup>	+12 m <sup>3</sup>	9330 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9230 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,594基 【誤】1,577基(2020.3.4)  
 ※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,418基 【誤】1,435基(2020.3.4)

## 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.1.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。  
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

## 水処理二次廃棄物の管理状況(2019.2.7時点)

